

別冊第一 赤子島 其一二

港灣ノ状況

調査年月日 自一九一〇
至一九二〇

出所 第四十二警備隊ニ依リ調査

0970

一ホナハ港

錨地

番号	錨地	港	口燈標	方位	距離	備	考
A	一四〇度	一四〇度	一二二〇	m	船長一七〇m	アルゼンチン級	
B	一三八度	一三八度	一九二〇	m	一五〇m	吃水八・九m	
C	一四四度	一四四度	二三八四	m	一三〇m	五〇m	
D	一番	浮標			一七〇m	五〇m	
E	一三八度	一三八度	三六七〇	m	一七〇m	五〇m	
F	一三八度	一三八度	三〇〇〇	m	一二五m	五〇m	
G	一五八度	一五八度	二一〇〇	m	六〇m	三・二m	
a	一四九度	一四九度	三三八〇	m			
b	一四六度	一四六度	三〇〇〇	m			
c	一四二度	一四二度	二八八〇	m			

二〇トン以下特設監視機
横帆船粗散錨地

現在ポナペ水道東端ヨリシヤプテツクノ間リ
 ヲ水深十米トテスベク
 ヲリ五月末日完成ノ予定
 完成セバ以ノ背後ノ
 大ナル海面ヲ泊地トシテ
 使用スルコトヲ得
 航路標識(立標)
 諸処ニ礁脈拵延セルヲ以テ
 立標ヲ定置シ航
 行ニ便セルモ敵上陸前ニ
 之等ヲ撤去セバ上陸舟
 艇ニ及ボス効果甚大ナル
 モノアリ
 シヤツプテランガ
 ルハレム

g	f	e	d
一九六度	二〇二度	三〇四度	二〇六度
二四〇〇m	二二〇〇m	一九〇〇m	一三〇〇m
		二〇〇トン以下特設監視艇 帆船粗散鋪地	

糖礁ハ低潮時処々干出スラント水道ヨリ進入セ
 ラル、場合ニハシヤツプランガ共ニ砲台ノ
 死角内ニアリ且兩島共ニ周辺解放セルヲ以テ上
 陸セラル、ノ慮アリ
 ナツト岬
 北海岸ハ高サ約六尺ノ石垣ニシテ兩用戰車モ上
 陸困難岬尖端ノ莫提ハ四五〇〇噸船舶横付可
 能
 タカテイック
 タカテイック
 テゴロニヤクムライト方面ニ向ヒ上陸スルハ困
 難
 本ナヘ港要圖附圖第一ノ如シ

ニシヨカトシ港
 シヨカトシ水道ハ四五〇〇噸船舶ノ通行可能泊
 地ハ二三〇〇噸船舶約ニ〇〇ヲ碇泊セシムルコト
 可^レ得
 ホナペ港ニ隣リタル爲從來船舶ノ利用スルナシ
 シヨカトシ水道ハ兩端堡礁喰違ヒタル爲外洋ヨ
 リノ通視困難水道ニ立標アリ之ヲ撤去セバ発見
 至難ナラシ
 シヨカトシ島
 裾礁ニ圍繞セラレ低潮時ニ於ケルソノ干出ト濕
 地帯ニ於ケルマンガロトブ密生ト相俟テ概シテ
 取付キ難キモ島前面水道側トシテツク附近敵上
 陸ノ虞アリ

三 マタラニユーム港

港内ニ一、三米及一五米ノニ浅礁アリ何レモ視認困難ニシテ雨後ハ海水濁濁シ全ク視認シ得ザルコトアリ

之等浅礁ノ東方ニ於テ水深六〇米内外ノ処ニ大型船舶ノ錨地ヲ得マタラニユーム港ハ利用船舶稀ニシテ港灣トシテノ設備不完全ナリナパルナ「ナ」ダヌ「エ」ナンマタル

マタラニユーム以南ハ裾礁ノミニシテ低潮時徒歩可能大高潮時ニハ舳舳ノ島岸横付不可能ナラザルモ波浪大ニシテ「リ」「フ」ニ激突シ相當ノ困難アラソ

四ロシキテ港

港口ノ内側ハ礁脈拡張シ内港ニ通ズル水路巾約

四〇米内港ハ狹隘ニシテ〇〇噸程度ノ船舶ヲ

容ルニ過ギザルモ船舶ハ恰モ船渠内ニアル如

ク安全ナリ

ロシキテ方面ハ堡礁上ニリ「」ノ固結物散在セ

ルト堡礁内暗礁ト海岸「」ノ算ニヨリ口

「」キテ港以外ノ舟艇上陸ハ至難ナラシ

五ロツト港

港口幅約ニ鍾水深港口ノ三ニ米ヨリ港首ニ至ル

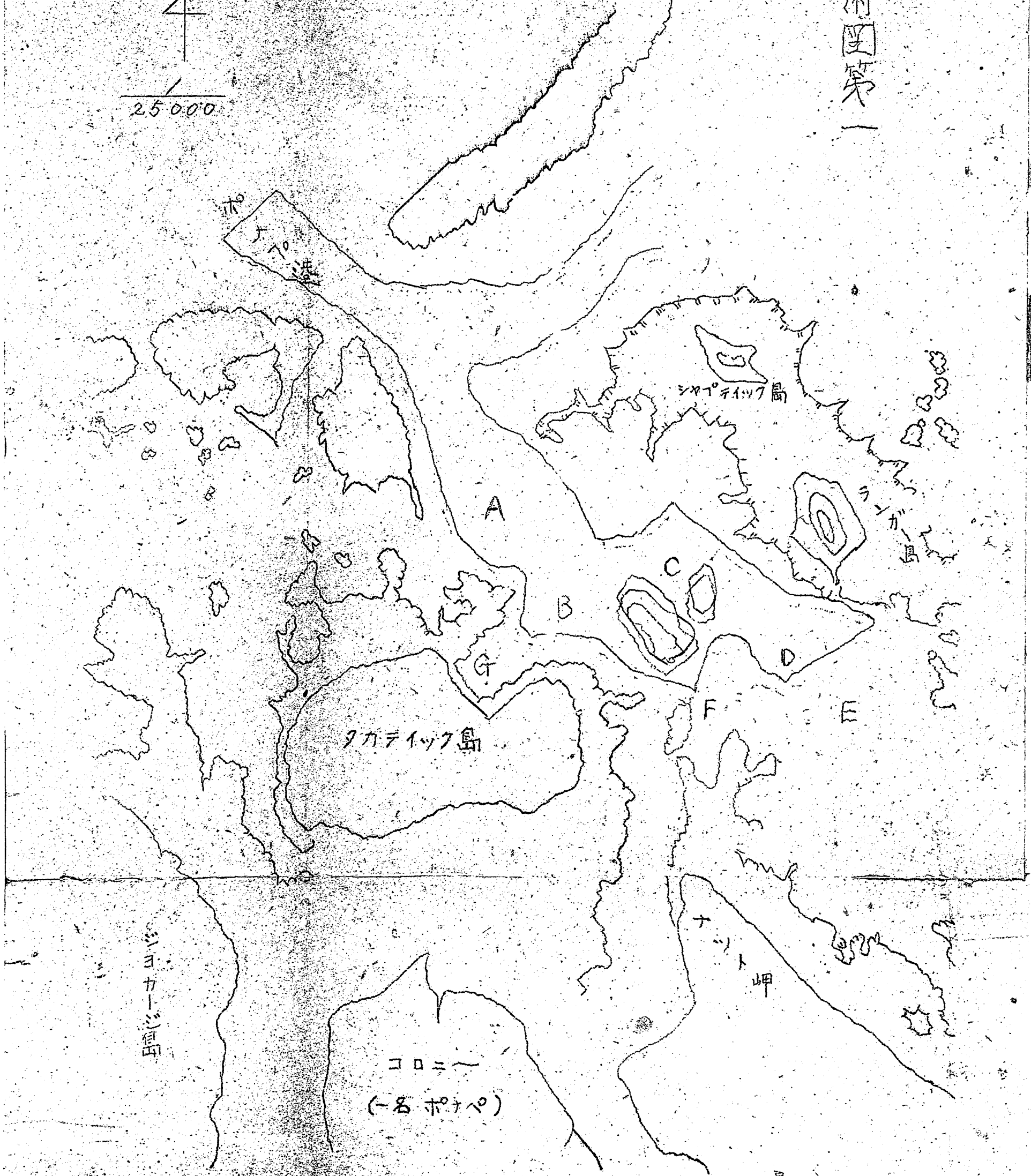
ニ漸ニ漸減大発程度ノ進入ハ炎堤附近迄

港首ノ川ハ川口ヨリ一ニ〇米ノ間水深三五米ナリ
央提附近マングローブヲ妨害ナシ
ハムトツク港
港内深米ナルモ甚ダ狭隘ナリマングローブ密生
ス

ポナペ港要図

附図第一

4
25000



0978